

会議の録音方法

発言者の人数は目安です。座席の間隔によって調整してください。

- ☒ IC レコーダーは万が一のため 2 台以上ご用意ください。
- ☒ 中・大規模会議ではハンドマイクをご使用ください。
- ☒ ハンドマイクのスピーカーが天井にあるなど、音源が IC レコーダーから遠いとうまく録音できませんので、設備担当の方にご相談の上、ライン録音をしてください。

1. 対面会議

(1) 発言者が 9 人以下の小規模会議の場合

- ① IC レコーダーが 1 台のときは、真ん中か、発言が多い方の前に置きます。
- ② IC レコーダーが 2 台のときは、発言が多い方の前に 1 台目、2 台目をその対角に置きます。

(2) 発言者が 10 人以上の中・大規模会議の場合

- ① IC レコーダーが 1 台しかないときは、ハンドマイクを使用します。その際は、ハンドマイクのスピーカーに向けて IC レコーダーを 30cm 程度離して置きます。スピーカーに近づけ過ぎると音割れし、遠過ぎると不明瞭になります。
- ② IC レコーダーが 2 台あり、ハンドマイクが使用できる場合は、1 台目を①と同様に置き、2 台目をスピーカーの対角に置きます。
- ③ IC レコーダーが 2 台あり、ハンドマイクが使用できない場合は、(1)の②と同様に置きますが、この規模では 2 台で收音し切れないため、聴取不能箇所が出ます。3 台あれば、発言が多い方を中心に均等に置いてください。

2. Zoom 等を使用した会議

(1) リモート出席者のみの場合

- ・ Zoom 等を録画してご提供ください。良質な録音のために、マイクスピーカーにできるだけ近づいて発言していただくか、ヘッドセットをご使用ください。

(2) リモート出席者と現地出席者が参加するハイブリッド開催の場合

- ・ 現地出席者が 5 人以下はマイクスピーカーを 1 台、6～9 人は 2 台置き、IC レコーダーが 2 台ある場合は各マイクスピーカーの近くに置き、1 台の場合は間に置いて録音します。
- ・ 10 人以上の中・大規模会議の場合はハンドマイクを使用し、ハンドマイクのスピーカーの近くにマイクスピーカーと IC レコーダーを置いて録音します。もう一台の IC レコーダーは、その対角に置いて録音してください。

※ハンドマイクを使用する際は

- ・ 事前に全てのマイクをオンにして発声し、ノイズや不具合がないかを確認し、適正なレベルに調整してください。また、無線マイクの電池切れの場合に備えて新しい電池をご用意ください。
- ・ 録音するためマイクを使用して発言していただく旨を、会議前にアナウンスしてください。